+

百

九

關屯墾團長代理

愈よ一兩日中に着奉

日

中村大尉無殺の當の責任者と親らいる屯戦軍第三側長代理關・衡は、

て東北側は事質無税ださいふが日 を事質無機さは認められない更に を事質無機さは認められない更に ででなる調査報告か電報されたと

滿蒙問題ご

興黨の態度

の輿論緩和 中村事件を承認の氣配は無い 軍部の態度益 々硬ル

を加へ陸根が十一日夜端に外根を訪問熟識したのたはどめ十二日朝來越々の場合の戦力解決到陸有耶無耶に導かんとする常套手段さらか見る事は出來ないさ見跡と語で経々緊張得してわが朝野の氣勢を殺ぎそれによって問題を遷延し結局事件業八の管明なるものを信用しない、恐らく同氏の官明なるものは事實を認むるが如く請う第一十年 京政府に称さんさしたり微球なる遊賞像ななしたりしてある有様であるから軍部さしては経験に對し国演解決を懲滅しつ、ある旨の解戦にないら、電話者に関して、近年實を認むるが如くても文那側には眞實事件を承認する氣 配は毫もないのみか邦で内々間に對し国演解決を懲滅しつ、ある旨の解戦に致いても花谷特級機関少佐或に関東軍部会部の報告に対してもある対象を支援と参議にが中村事他に関し事質無視にあるさえとう。

は、 の報告により中村大尉虐殺事 他に黙する日本側の感度容易なら 地に黙する日本側の感度容易なら 地に黙する日本側の感度容易なら 北派兵司会隊、亞氏及び佐管二名 北派兵司会隊、亞氏及び佐管二名 北派兵司会隊、亞氏及び佐管二名 であるに鑑み事性の調査員 本現地に派するに決定した『奉天 に更に有力なる者を派遣すべしさ 電話 陳憲兵司令な派遣 學良氏の命令で現地へ

京ホテルに入つた状脈の記者に勝然の使は午前十一時代北平処績北

内地の言論界は

また硬化しない

川島政友會代議士の來連談

蔣駐日公使談

陳氏調査に基さ

最後的斷案 學良氏急速解決希望

日ばいかる丸にて來速したが艇中政友會代議士川島正二川氏が十三

軍部共同戰線に

であることの人では明らかに前兵 であることの人でするにあるも に解決を希望してある。然し陳美亞氏の を関連なりとされるにあるも であることの人でするにあるも であることの人でするにあるも であることの人でするにあるも であることの人でするにあるも

逆宣傳

軍革抗爭を激成 首相の園公訪問事

11 の融密を著

[北平特團十二日發]河北省旅部

一度の中村事件

至國民の態度强硬

來滿の用務は單なる視察だ

ひふ本連の 鈴木莊六大將談

在郷軍人原四十名を得るて流

何健氏漸く反蔣態度

和職 製兩樣の作戰 車の進撃に

3 厳東軍三萬 戦りである、一方京京政府は廃東 変が何度氏の 常繁減もついある時内戦は後らに 戦がでいなって来 日本人からて地長せらめるもので 戦になって来 日本人からて地長せらめるもので 戦が使氏の 常繁減もついある時内戦は後らに 東を講像に 計画と から速かに和語か識じて一致 を告究ら外突間距を理由に北俣を を告究ら外突間距を理由に北俣を 酌むべし。

職の美縁は熟れたる唐張を着に

にしやッなを助がないか。 の調査は不要だ、顕さん、キレイかの調査は不要だ、顕さん、キレイか 悪して芳醇の新池ありや。 ないか?取あれざもまゝならわ。

ていや、これを云って聴すこともないが、外蒙古の様子でも脚かうれと思ひましてな」 は思ひましてな」 に選びましてな」 の保護は必慮で活躍を變へた。 「洋子は必慮に居るのですか?こと 「食長に訊かれたがいいでせう。 時もある部屋に居りませう。の食長に何處にゐるのでずし

如く上奏御裁一称官宮田忠雄氏が來述とたが駐中は近日中にゅかる丸にて附上省貿易局面報課事 する限り王さ

情勢調查 宮田事務官談 ٥

問つてか輔定らんさはする。 更に見よ、その砂雅郷、何處に

明……マッド・ルームかもしれませ、たんな。あの人も似々その方配では、 こめの人で話してもあるのです

でれは何うもご親切に」 からな」 からな」 かうぶつたものと位際は、は、 でかカラク 「では僕も見ることにしませう」「では僕も見ることにしませう」 洋會議は

一個歌歌 特別大演習商車、第六師園を基 (一名2 集の女) も 1 まり (1 ま) (1 ま

を脱戦軍職・政権職・報告してるが首権に先だち南陸権が十二日公院権が十二日公 職職會は午後五時三十分頃より男安東公會堂における婦人公論社の 講演會

告かなすものを観られる

對支貿易

を な際の船で塗ったとけです」 を な際の船で塗ったとけです」 な際の船で塗ったとけです」 な際の船で塗ったとけです」 な際の船で塗ったとけです」 な際の船で塗ったとけです」 な際の船で塗ったとけです」 に「成程。そんな脚像ですか――ダ 「あい成る程、さういふ意味です ット計伸處へ行きましたかな、其 か」 が」 が」 の十二時過ぎださいふのですから」 にはいるのが今後 はまったといるのが、十一を のかったといるのが、十一を がったといるのが、十一を のかったといるのが、十一を にはないるのが、十一を にはないるのが、1000でも にはないるのが、1000でも にはないるのが、1000でも にはないるのが、1000でも にはないるのが、1000でも にはないるのでも にはないる。 にはないるのでも にはないる。 にはないる。 にはないる。 にはないる。 にはないるのでも にはないる。 にはないないない。 にはないないないる。 にはないない。 にはないないないない。 にはないないないないない。 にはないないないないないないないないないないないないないないないないないないな

学子窓小返してよこすのが今夜 の十二時過ぎださいふ、さらいふ ここを思ひ出したので、他は難し くさう云ったいであった。

州で開く

準備委員總會で決定 準させるもの)軍司令官被仰附本 準さしたもの 軍司令官被仰附本 連さしたもの 軍司令官被仰附本 渡邊 太郎

「あの人が兄さんのサンタン君と一「ふん、それは何ういふ器です」

(酸)、あなたもご覧にならなけれこの形が順的いさいふこさです。 「是非さら見なければ不可ませ ば不可ないし んなもの見たくないが



技術協會十六日會

しより総師下村子秋氏は「新時代の 中づき午後九時より婦人座駆會に移ってあり、午後九時より婦人座駆會に移っている出席者七十名に及ぶの盛場 であり、午後十時四十分除會した 職島氏の説明により上映し、それが映画「かくて第一線へ」二巻を

日 大連龍。では秋季大祭其の他の名 こさになった こさになった

秋祭氏子役員總會 変合、食物



狐の

こうこよくないので、一連間位 側に置くことは、矢張り毛皮の

に離すのだが、そのだ

その方法がまた

北海道への遊説の近くにある大海公の近くにある大海公 は、極めてするい、大鵬な、い

に総合な数して財役せよご監察し に対し水害の機に乗じ日本帝國主 後の援助な得て内臓を超さんさす る廣東派は全国の公敵である速か

人を煽て、多数の支那の大利に関

流産なしたり、子供を保護する

髪な仕事もある。

のである。

かートであるだけに、

そうしてそのために乳もさ

を まってしまふ。 事は高れて行くさの事である。 本は高れて行くさの事である。 大雅だつて然識世親っ子供に

狐の均合はそれがあまりにデリ

を表記れて夢中で狂ひまはるさ 事を認れて夢中で狂ひまはるさ

が、後でこれを養見した世派に が、後でこれを養見した世派に が、後でこれを養見した世派に かれらげにその行方を探すらし

は左の通り決定全権の正式教令と 長の軍権全権決定に供ふ陸軍奏職 + 陸軍の異動

は左の通り決定全権の正立を 少將 杉原美代太郎 小本部第三部長

顧問官補充

回際的サロンへも 「今行っても塗ひますまいよ…… 「今行っても塗ひますまいよ…… 史

藤順三

で、いづれも目差では山の頂きで、いづれも目差では山の頂きでは山の頂きで

採集しつ、頂上

祠に記念の寄せ書を納む

松山藍工戦コートで駆付された「大連二中、大連一中、前成學校、滿中等學校改式逐環大會は十三」加した総山中學をはどめ大連商業滿代製製門學校主催、本計後送「参加學校は本年初めて帰州より参

不能達しの金に続いた、地震を

全大連

百

時には大勢で呼ぶことなど期せずの時には大勢で呼ぶこと、萬一喇まれたと

千

師も草をかけ入った、このあたり

き残って植物の探

このあたりには植物学上珍しい

斑などが鬱生しそれに

ぎに探つたり種子を集めたり売りが多いので安東氏はそれらか根こ

又観賞用の植物も樹めて種類の八分消りを発たしてしまつ

(=)

小龍山島學術調查

翠皎

全滿中等學校の

歌庭球大會開催

後年全大連大いに搬頭に努めた網を出ていたが、前半的艦艦で二十

けふ午前中の戦績

世にて米二王順、水災に難して中華民國水災同様食験が開本国際の場合の代表が変異なる。大阪総地方の影問品式、水が一千順、銀三百二十順な機能、水ン粉一千順、鑑品工百二十順な機能、大平原の影問品式、大百順、電子製造を大平原が日本国際倉の代表を表しては手楽線な種かり、観音の代表を表しては手楽線な種かり、観音の代表を表しては手が、変異などの影響を表しては手が、変異などの影響を表しては手が、変異などの影響を表しては手が、変異などの影響を表しては手が、変異などの影響を表しては手が、変異などの影響を表しては手が、変異などの影響を表しては、大きなどの影響を表しては、大きなどの影響を表しては、大きなどの影響を表しては、大きなどの影響を表しては、大きなどの影響を表している。

白燕リ

۴

全大連惜敗す

メスマン三代の

遭難報告

救恤船天城丸

感は來る十

七日上海着の

慰問

慰問使深尾男が乘船

て関邦を開いています。 これが日本澄水同間含より推され た、同氏は今回の長江水帯に繋じ た、同氏は今回の長江水帯に繋じ

笹柴佐森笹柴小姉佐森

9

大連神社月次祭

お産したの まむし属と判る

性ははぶに近似ら如何なる種族で遊においてまむもに近いがその智 電氣遊園の問題の

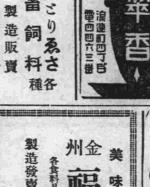
1000伊

技第四

なって攻め立て森山、三龍の野技に 東国監ちとめ一進一退映然日熱 地味に確然に進めて行く處に強いく概智したチームでありプレーも

きものが全くなかつたにある(無 飛下り轢殺さる

家畜飼料で



製造發賣元岩 電話四六四八番店 百匁金十錢

味 頭痛 て安



大連で最も理想的な リンクは中央

ゴルフ場

奥様方へ

なくチーム全獣に粗雑なプレールゲッター、望月のコントロ

憲兵上り泥棒 罪狀を自白す

代るには今津佛画理學博士養明の立脈に敷、大概、蔬菜、草花等を

ルに出來る

立派な

菊

大連でタッター軒

市内能量町二番地製氏の姿容中村では帰事子(こと)がへ続び入りを第二十世界等兵順又就有衛門(三)は戦職を受いりので来逃したもの、食ふに陥ってでいる。

村 家治するさ同時に代謝に刺媒を乗 京師場、今津化事研究所へ申込。 京師場、今津化事研究所へ申込。

院に天満屋ビル下

個日の日間

お化粧用小袋中打

十五

お漬物用ー

暫く御待な下さいおり油の御注文は

の素の入らないおいらい 一醬油が近日景 の窓盗を働いたのを手始めに を地を悪してゐるここを印訳した サニ日午後十時登列車で一調間の 中二日午後十時登列車で一調間の 中二日午後十時登列車で一調間の で、大連署司法派吉富智部制は 大連署司法派吉富智部制は 大連署司法派吉富智部制は

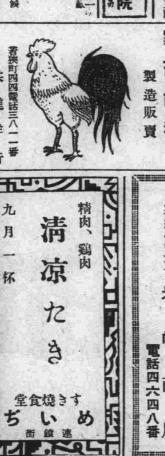
東京特電十三日發》慶帝第二回 慶應再勝 慶帝二回戦

頑固な 胃腸病が

不思議に治る

理料西蘭佛

第六回購買會第二



清凉

たき

取り、塗破一に変形を四段館で現金、資金版を合取り、塗破一に変形を四月五十個、資金

棒捕へらる

二日逢坂町で豪遊中

天の川池浚へ延期



尺氣豫就

へ動い、大男の隣田氏の奴きは十一二三匹を踏みつけた、その不無味

来国プリインを社製インダクシ 従来のセンマイ式な電気モータ

金漬拾五圖

會 葬 友親小御





◆大連感動性は問題機されてあ って一まづ一脚帯である、がその って一まづ一脚帯である、がその

映畵が足らぬ

つて行った。

色で海藝

お飲け、

落着かな

街 安東縣市協会 安東縣市協会 安東縣市協会 安東縣市協会 安東縣市協会 安東縣市

一板。即の背後なのぞいて

れ經療者の乳臓が脚様されてぬる を構造して家覧リー干三百國と噂を を構造して家覧リー干三百國と噂を

子金

六六七章+几七連西連大

有効と確定され、の治療が過失要上である。

兒

制

士博學医

っな性格の、このある野で

くずりたあけて顔だけ出して、

しませう」

◆次いて注目されるのは大日活 連した長館・が何等かの具盤的監 連した長館・が何等かの具盤的監

いいまつれらない。

館の職定で現在了一 総様する意志はないらしく、而もり を受験するを共に、聴急策さして

常

搬四

痙

「驚つて見るか、それでは、だ

まあお入り下さい、取飲らして居



田

いふこさな、見込んでの上で?」「それでは、いよく、着り込んで

役人はだしだな。三人 です」ですいに云つた。

「おや、板五郎様、どうしました。

活之交渉を重ね、また東 活館主がけふの船で躍つて來

高松少女舞踊團

すで藥祕の粧化てしそ藥名の偽外

ために三十銭開放

十四日



が要として片味 を補張し一日

瓶 江

書映演主郎太玉川市 演開分十四時六夜 • 分十三時二十畫

20mmannanammannanampmang

日本ペ

債債券券

ទីពេលពេលពេលពេលពេលពេលពេលពេលពេល

券 五圓券 五圓券

記念品洩れ無く贈呈

郷の青年達で起った大事件・一巻物語●近藤勇崇拝熱の

井上金太郎監督

近藤勇余

知池寬氏原作^{婦與與}開華鏡

IL

0

h

近

代

的

0

健

腦

3:

朝





上

額拾

二付抽籤券一枚

中

狹屋質店

火傷毒虫

躍活の屋質 密管出 最確勉特色 機な 三五〇六話で

脚手土産ニ・・・・・脚客席ニ・・・・・

進調

名物モ存が本部

みふと屋

6085 番 22660

鷲印ワニナメ

ーナメル

謝恩特賣

屈佳 本紙上に凝告 流味

電話六五四四番

寫眞機を無料で 名になる為めこの懸賞集を致っていてするの名前がより一個ペーナー

ビーボックスカメラを差上ます



一服 かそ られ 会社

大連市山縣通二十一番地(電話ペニニン

時候變はり

経調と相俟つて、替く新人の関 野人畜及ゲイタミンコを配伍し 薬効を充實せしめたるものにし で、其の薬粒の純澤なる銀色の は、

新京の秋、暑さを表つて凉味いよく〜加はり弱夕凌ぎよくなりました、これからが病魔活動の季節です。 今年は三十年來の暑さに健康な人でもめつきり弱つて居りますここに病魔がぢりむりと食い込みまずから此の時候變りには仁丹を御活用下さい。 がに仁丹特有の殺菌力は外から侵入する病魔を輝け無く撲滅します。

へらる」ことは世間版

塞環の長社日朝山村たれら世寄に仙山南薬蓋

け、よく社會の代表: では、計画の公正を持して正義を接っています。 では、計画の公正を持して正義を接っています。

世界附指の大新聞に敷

藥南山仙に寄せられた本山閣下の揮毫

朝日新聞社具

南山仙に寄せられた林男爵の揮毫をから、一般時代天戦

第篇教育

其百四十一

松

一伊藤 彦造畵

平安期

の時代相

兵備は護國の生命

上のつひしるか を複数様とせらと 性をに無なっ

に思はしくなく、抵税戦戦の方か

京日日新聞社長 山閣下

(中) 有田ドラッグの観光歌工場がは、 製業工学で、しかも大量生産によって常に新しい薬を病患者に提供してあるから大量によく効くのだと辞判ですが事實ですか。

樊して己まない

明 一院名・服教職 右ノ突患ニテ本年 の競法も多減多様に出来て来たことは一般が、一郎また野野などであります。私は再生の教師を設することは非常に出来て来たことですが、一配また野野などであります。私は再生の教師を設することは非常に出来て来たことですが、一配また野野な選技に出来て来たことであります。私は再生の教師といて、一世を多く解型の社がらお教ひ出来たらと存じて公表した野野な選技に出来て来たことを、大きなの教師を対した。一世をある。日本の教師を設することは非常に不幸ない。これを表して公表したの教師を対した。一世をあると存じて公表したの教師を表して、一世をあると存じて公表した。

肺尖カタルと

有田鑑製薬で全快

りな賣専のグッラド田有は藥製鑑松音田有 市越後 市 家

> 甸 街

りあ者正不る費を に瓶嚢に並箱薬

必ずこの文字あるものを御買取あれ 發賣元 東京日本橋 邁三 舖 大阪内本町二 田音松鑑製』 田ド ラッグ』

も多く此の数率をお知らせしたい たらでは、で、胸一つに切み得の悪で大切と感謝は筆ではいい数はせませ がと感謝は筆ではいい数はせませ がと感謝は筆ではいい数はせませ がと感謝は筆ではいい数はせませ

川 ダ 島田 利一 石 聚金澤市有松町三六 表して頂く水第であります。

世ントレテロ人五・

表析分素液血田有 内大。へ、出が品右 外正 モ畑セイハノー ゲニビグレルが音名・オ

完全な英養料 する窓のなくてならぬ補血抵抗吸出順。 しないかと心配する人などが、肺疾を酸防 しないかと心配する人などが、肺疾を酸防 肺病・肺膜炎必須の榮養料 な

血となり肉となる

見を許さす

ココス、カンソは切らずに治る
 大を切らずに速れる解釈を観は
 本を切らずに 速 に服
 本を切らずに 速 に服
 本の心が果を観は
 本の心が果を観は
 本の心が悪なる解釈教
 本の心が繁なのである。
 本の心が繁なのである。
 本の心が繁なのである。
 本の心が繁なのである。
 本の心が繁なのである。
 本の心が繁なのである。
 本の心が繁なのである。
 本の心が繁なのである。
 本の心が繁なのである。
 本のである。
 本のである。

製鑑松音田有 藥効有任責 脳心臓胃腸で 0個 請合藥 四日 隋合聚 五 圓 **請合藥 五 圓** 請合藥五圓

王道二民主義

第1、特別 然でもあるまいで楽日な俗野に特部 然でもあるまいで楽日な俗子百部と

採文の眞精神

8

陳憲兵司令

事件に尽後的職定を下すべき

現地へ向よ

州蒙問題を研究

懸案の解決に努力

売額は十三億臺

それ以上の緊縮整理はやらぬ

ガンデー氏

動務臀部補桑野四郎の南氏は全国一度課動務細川湾、並に大連臀採署

商上 「同上 同上

八吉林居印民會長) 丸で來車

英のフ港に到着 ン十二日後』インド國民

Charles Single

一の反抗(30)

三宅や

臓相の豫算編成方

官吏身分保障案

ショールを肩にかけ脱から下は丸を有相続らず日い腰布が続ひ大きな

十八日の閣議に

これな酸けぬ事さな

「運かつたわ、待つてたのよ、さ

言者(1)

たわれ。第一様なよ。あがめ奉つ

なった、而して外交々渉は消蒙に関する限り歴史的特殊事情に照ら挙天常局を折衝する意向で驅逐問題、大連港不當課稅問題、滿蒙養備問題等の交渉を開く国について減意と互譲を以て解決を圖る方が耳に利益であるさなら差常り 鮮問題の根本論を行ふ時は日支互に抽象論を聞ばし徒に問題を困難化すから外交突渉さしては各問題の根本論を行ふ時は日支互に抽象論を

引きし十三日朝九時五十分帯陽縣一九日記等し十三日朝九時五十分帯陽縣一九日記兵少縣電院低氏が十数名と

法權撤廢反對には

内地各方面で賛成

外務省首脳は滿蒙事情に疎い

歸来した北浦邦人代表談

王大佐の報告 王大佐の報告

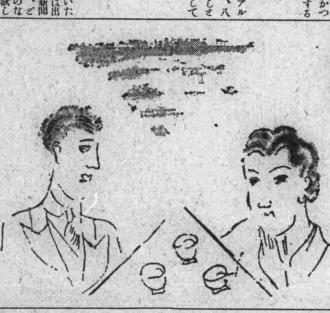
珊園芸館は今明日中餐室する智挑 一様は禄黙殿整理によつて中村大尉加密者屯駐軍第三隊長代 二千九百萬側さなつてる

州縣議の立候補 既に定員を突破

十二日現在で千七百四

| パリ十二日参 | 佛首根ラヴアル| 外根プリアン| | 外抵に乗る廿七、八 マ大総會から直に出席を搭離する マ大総會から直に出席を搭離する マ大総會から直に出席を搭離する 佛兩相訪獨

善鄰著類語



が、寮一は、いつもほご元気に

府縣議戦ご

南支

北方ほごに激しくはない の對日感情

南京政府水災救助に懸命

であつめて然を押した。 をみつめて然を押した。 「大丈大」

人将の動靜

市中各方面を視察

動理會に臨み十五日旅船戦職

「幅か離白い話があるのかれ」

滿鐵首腦ご

意見交換

備豪問題に關し

てるさ、全く「話の泉」だわ」

證據を握りながら 誠意と互譲 際決な促進するため外交交徴を開始すべく既に出発官級に必然に関する指令な登した、意)中村事性解決も時局の問題に見込みな立てた外務階局はこれを機會に多年の職家た 感よ近く奉天當局と折衝する 正式交渉を回避の肚 にる支那側

A平洋會議にて 支那が排日宣傳

気もく内務省法制 ・ならびに經

墨國聯盟加入

飛んで出て、翌日に迎へた佐楼 いふやうに、さんと待たせちやつたわれ」 女中に命じる さう、秘密、秘密、だつ 佐枝子は、大げさに口に

でいますなんで、不合理にもほどがある。いくら財産があったって、かある。いくら財産があったってかある。いくら財産があったってがある。いくら財産があったってがある。いくら財産があったってがある。 まふ。農業のやうに快活な

農學博士日野殿の大田の東西を売むる中郷具、附条には著者質量の祖及屋の遺

挿畫、牧鹹九十版。內心炎科州三錢 菊利布裝五百卅頁。正讀:個八十鐘

類

行政裁判法改正

音樂は何處へ行~

ではないさ思っためにも、供してからはないものないものないものないものないものないものないものないものなけばほんのをしていてきない。

ヤ部樂が生れ

た飛吉相三連桝の中飛に吉相生 第八回 無為 第八回 無為 第八回 無為 井二聲に封殺されたが矢野左前 一が垣根捕邪飛後苅田三匍に藤 井二聲に封殺されたが矢野左前 の行 倉の代打)の時捕透で丸 田三進と成田の中前安打に地置

慶帝第二回戰

短寒、五――三で長巻軍艦艇とた 安東紫海騒野球職は十三日午後三 の大勝戦を見せたが五時五十分略 くなつたゝめドロンゲームを覚せ もれ十四日午前飛戦の響『長春電

三日午後三時から教報グラウンド の獣〇の大勝戦であつたが後や警告において騒行。全学に極軍緊急し 大リードとて五點入れ窓中艦戦せ たりの大勝戦であつたが後や警

醫大學科對常中の

滿電千歳を破る

全滿中學庭球

グ理事會は十二日午後四時四十五 、神宮大會中等學校選抜野球出機選二名の追加な承認す、慶應チーム投手温井、外野手 發」六大學野球リー

神宮の選拔野球大會

<u>の</u> 滴

▲南京虫軍全滅

◆一株大連の中流住宅は饗潔過ぎ る。家町の高いのを口にしても 整築の様式を完々するものは場 整本では一年年に水道経のある 屋なでは一年年に水道経のある 參加中等校決定

Poclant ない。総殿住みよい家は朝高でなく家電の新像は、世分殿い家は地熱空なく家電の新像、日光の分射、なく家電の新像、日光の分射、なく家電の新像、日光の分射、変数の新像、田光の分射、変数の影響、母地の厳密、温暖

迎歌章投

さである。

くら安い家でも

は嫌疏コンクリート、ステイーは嫌疏コンクリート、ステイー

用筆年萬

断然優秀 一万印 價格低廉正に百パーセント (青任付) 屋間卸 店商助金木荒 結 町一町等級久南區東市阪大 八三大二・ 〇九〇四輪城 春五六〇六 級大 春城 (星送グロタカ)

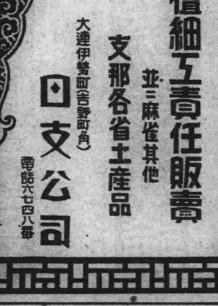
金器銀器の御建立、 素が同じなずは本人の御客様に支那で一番に老舗を持って居ります、 素が同じは相當信用を有て居ります。 ままれま 唯一の世界金店へ!!

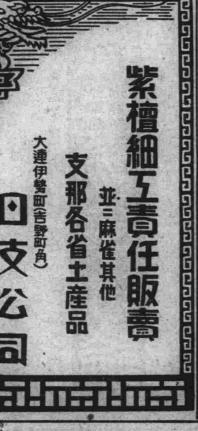
慢の製品です

GU 2000

大連伊勢町舎勢町角) 支那各省土産品 亚=麻雀其他

紫檀細工責任販売





華洋行前通支那風呂向

櫻鯉したな 東京風菓子謹製 くら れの 産 食

日本及南源河橋代理店 倉社 岡本本 大連市西通一七

為の徹底的適法の手段に出ずるの止む無き事を謹告候也扱の向有之候場合は弊店は代理權の侵害に對して既得權の擁護の南滿洲に於ける代理店に御座候に付同製品を弊店の承諾無く御取弊店は米國QRSデイヴライ社製品デイヴライ映寫機及撮影機の

同上南滿洲代理店

電話云二二五番

六大學秋のリーグ戦 版中快勝す でに登本のスマ をに発すれたが

對法政第二回戰 州州外野城大倉第三日目の長将野塚 東東 大戦は十三日正午から開始、東天 戦は十三日正午から開始、東天 長春惜敗

界各國酒類

料品

H

州代

神宮の外苑に

七分大阪に郷着した

虚の事故で墜落二勇士を失つた 提手出来るさ喜んでゐたのに不 提手出来るさ喜んでゐたのに不

事は誠に残念且哀情に堪へない事は誠に残念且哀情に堪へない

漢亞冷艇會社パーゲ

同仁會の

水災慰問

間島の

軍憲首腦

小野理事渡支

鹽數十萬圓密輸

清津支那領事が告發

四年計畫で三百萬圓

(三) 南京北平間 ネンハウエル氏の意見に從しない、ノーチラスの総路に

百

用し残りなな人の佐藤明(ご)に定って、製造があるのみで一時和き目 でなりでないのでありつけた、へ

職があるので村民戦々彼々さらて ・ 電気を表現される一般が登地し既に

カルスポーに支那人の性懐和平な北平協和登院(ロックフェラー

遼寧省當局で計畫

大都市

して

和平性と植物食

がないさて佐藤が懸つて居る事

役七時三十分、ロングイ 人骨の迷信 愛知縣賞飯郡一宮村大学江県学 ・ 一覧の迷信

歌は萬般の戦情成り、窓野中に世襲されてゐたノ

けるこさにならうさ

コドス機は 遂に再學を中止

有機を見るに本日午後突然モスクワの勢製就空科學研究所は機を見るに本日午後突然モスクワッ等製就空科學研究所は機能合成でモスクワッ等 観に直に気死者の人相骨線特徴を展け直に気死者の人相骨線特徴を

自力警備を決意

わが出先官憲に指令

ノ號諾威へ向よ 破損箇所の修理了り

遭難の地點

大吹雪を衝いて

てある

|東京特電十三日製| ルブリ

ニオン第二世獣の戦楽したのはパンユキール共和國カルタシン地方のタニア海神派の平地で戦楽の報でしたが、シユキール共和國カルタシン地方のタニア海神派の平地で戦楽の報でして戦かが生気できるドレー氏を観ぶに戦かをして襲慄を加へた戦楽の原因は 京開無着陸横駅の途中故職のため

【大阪十三日發】リンパーク氏夫 リンデー 佛機墜落の原因 きのふ大阪着

天候不良の爲と判る で東京特電十三日程 ・ 本野後一郎氏は同會な代表して支 ・ 大三日午後七時十分第四班教師と教養座の環接側、同位會選呼 ・ のため ・ で東京特電十三日程 ・ 同位會選呼 ・ のため ・ で表して支 ・ で表して支 て銀道から百五十キロ南で出餐監 日五十キロ南で出

パリーから校三千八百キロにはつ 世界の損失

が、まる四日大連より締成の途中 パ號救助談

長岡博覽 會場倒 暴風の ために

謝地したが風は三時頃 を加へ遂に場

正至る時は断乎決意を以て自力警備に當る外なしと出先官憲に指令に至る時は断乎決意を以て自力警備に當る外なしと出先官憲に指令を認めたので外務際は事態を影應と即應衛行に禁し支那當局の警備に信頼し得ざるれ不祥事件頻 發するので十日林總領事より榮養氏に對し法念を喚起したる結系支那側もこれ不祥事件頻 發するので十日林總領事より榮養氏に對し法念を喚起したる結系支那側もこれ不祥事件頻 發するのできれた。

の態化を交通機関の發遊に遊歴せ 改正案立案 自動車取締令

卸 酒 合組造酒州東關

冷

清 銘

銘 ぬい云 大連市沙河口大正道 安藤酒店 電話九四〇九番 屋

酒業工学 製造 町商店 青野商店

滿洲酒造盤 憲 す他 支那吳服類 婦人子供服 生 地 婦人子供服 生 地

服料公萊德 樹九九三七話電 **枝公恭德** ◆ 地齿二十七 的速浪

祖始の界業信興洲滿

大連市駿河町一(電話四七六六番) 日報 **一 資産、信用、結婚 輸出入品の移動数量** 音法務事項、相場表情が

速迅=密緻=確正

滿 電話九一三四番 興 信公 所

鼠

佐竹商店

粉料 井波醻吉 波耳瞬科醫 90 BA

北川商

電話四七番 市店

頭痛ニノ

大連市西通

土井商店

昨日のスポーツ (下)全滿中等學校軟)滿電對旅順千歲野球

訂新版增

獨命

すま居てへ揃取と富豊女地生白種各

專片深别計即付較即

師上商大

工

.

IJ

w

著

新棋三五 衛 衛 前 六 一 版 〇 慶

牛皮没收問題

ジュプスケ署

ス署

實實實 用用用 日日日

露英佛會會會

話話話於

審四二四八京東替振 店書刺金 路小川今田神市京東

恩施

本川 商店 高語(OIIII)

合組造酒州東關

酒速富士*

清岡商店

時五分邀起した撃年五十二次である。三日登)所帯線に配り撃路加線院

電車に觸れ負傷す

世安い 近口窗 三七八八竜・三町速浪連大

我邦映画《説者中の第一人者こし 大は歌歌の近く熟地美郎、大平伸、 氏は歌歌の近く熟地美郎、大平伸、 大で楽歌、勝る 里見義郎來る

解説の

銘

皇兆 等的 備後屋 神田酒店

犬靶 大川 商店大連市整備質三丁目

豐 糧 社

純松樹特等 根小響 和音前サッマ温泉 電話四十四〇番電話三八三三・二二〇三番電話三八三・二二三〇三番 米

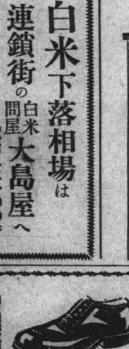
原田商會 品更優たし味吟 支店

學生靴一割引

大連市浪速町

和泉屋本店

融給 神治定 連濱 (與可角)



電話二二二〇〇番

守備兵に感謝

「意場」窓場が南三十支里立山縣 様した趣窓線工安局長は公安大隊 様した趣窓線工安局長は公安大隊 であるこの懐報に があるこの懐報に があるこの懐報に であるこの情報に である。 である。

展さ呼吸して市街の警備に低する 事さなり十二日午後一時より地方。 事が後近さして警備員日支人五名 東山渓より日出港東西麻區に即ち 東山渓より日出港東西麻區に即ち 東山地方。

伐除出動

害と警備

日 名家を持ち寄り探覧の上高監者よりでり十名を町内會抵慰徒神さらて選ってたが深からささになったが撃してがなったが撃る。

奉天町内會では豫選

宴を開き午後一時設會した前十一時三十分より機上に 安奉線の 行樂地調べ

作客の吸収に努力すべく索天事務 【安東』消滅では増収な職るため

理ない。 一般には、 乃木祭の催し

處あつた、谷艦隊は十一、十二、 人分會、青年膨緩合の軽齢適常は 瀬兵隊、海州現下の時局に鑑み際原光・を郷軍 聯合警備演習

虎疫發生のため

開

原

第二期防疫準備

滿鐵より千草主任來る

開豐鐵道四驛增設

天

部で新年の新総式を盛大に軽行と て在家ユダヤ人は市内富士町操築 猶太人のお正月

倉田 者に寄附 市内宇治町三角一郎氏は十二日貧困者救済 をさして金十圓な泰天署に寄附と 過爐銀取引

青聯會議出席者 後七時から地事會議至に於て關聯 後七時から地事會議至に於て關聯

ない。 ないでは、 ない

は、一般にして、対番を中にそつさ、それにして、対番を中に入れるには声を無理にているよいので、対象なりは、対象をないで、対象をない。対し、対象をない。対し、対象を中に入れるには声を無理にできまりません。

に、過労を巨の死に聴はした自 を差しこんだだけだつた。 とかし、妓はそれで滿足したや とかし、女はそれで滿足したや

かつた。さ、人物は織めて戸な叩った。 て るるのが見えた。 ですアは息かこらして見守つた たえ子はうしるの職子をもめる の さ、ガラス戸に離をれてて、戦く い、思つたらしく、今度は戸の内 い、思つたらしく、今度は戸の内

リベール臭を放つて排泄す此時速くも著名なる効果を自覺

つるあてべつ

悉き

出の賴信然對

for Gonorrhoea

本邦製治淋薬リベールが海外諸國にも勇敢に数多き歐米治淋薬を壓倒した。
現代治淋薬の第一人者として内外人の信用を博しついあり。
は特製リベールの内服は淋病菌で入れるを以て今迄憂鬱なりし患者も配けるの薬効の説明は茲に千萬言を費するの薬効の説明は茲に千萬言を費するの薬効の説明は茲に千萬言を費するので腐力を必要がある。

に大なるセンセーショーが海外諸國に於て最 薬な 米先進國にも

であるが先づ旅 武波署長巡視

EL CONTRACT

田原

(四)

地方委員選擧迫る

各候補は夫々暗中飛躍を開始

愈々秋季大祭

五代ででいたして極の本別を表がい、十一日までのはいました。 一般のが、十一日までのは時者が戦い、十一日までのは、十一日までのない。

日の前の灯に染まつたガラス隊 子の前に、思ひがけなく、妓の姿 が黒く現れたのに、マリアはざよ つさして標立っになつた。恐らく かまく現れたのに、マリアはざよ

い人影白し

遼

起で十五日午後六時

降子に手の繋がかくつた

宮城縣視察團

御神寳の拜觀

職に仲勢大型営より程受したる銀 を削削しつき多数の理解をお割めて でも、一時より一般氏子に理解する。 もたり理解し得る機會は無へられ もたり理解し得る機會は無へられ はなるは、今後再び御練賞を目の もたり理解し得る機會は無へられ はなる。

鞍

ほえ髪が睫えて來たが、それが果したが、眼が悲しみに異様に嫌いてるた。時々屋敷の外から遠くだのしてあるので強け恍然さ見えなかつあたりはシンと解まりかへつてしひよろくしてなる、灯を帯しし

さいるか

さるにつき多数の無機をお勧めて でるこ、解集にて無観者は心臓に取らさる

動産専務夫人等の幹点 生花曽は矢野工作 そ

0 111 秋か来ました to

魚谷造花店

風若松町八十二番地土 號) 價二十五錢、東 連 JOAK 自午後六時五十分

脱に由つて事實を知ら

ロランよっ 五日分

の試

で入腹

間にルは

本劑の優れたる點は

Powerful and Reliable Medicine

でない。 でかて家の奥からささやかな足 一時に幾度が渡の関く置いして、 一般後にガラス戸の前の膨子に悪い をのして、ですりては初めそ の膨子の背後の部屋にたえ子がる るのだらうさ思ってるたが、その をのがらうさ思ってるたが、その

特製リベールに優る

な

萬一品切の節に兼實元へ ・名に對し薬を言葉巧みに押 ・名に對し薬に無智なる者

〇海峽殖民地 智 資

到る處の樂店に販賣す 三六〇世

野四にて老天軍が勝を献さた 「振殿対応にて際始されたが五A」

五の大郷戦で変東候勝するのスコールに入つて変東軍ホームランをカッ

り本田紫生の殿々たる編を付けい の繋帯がグランドの隅に響く次で 砂なさらて帰り行くその森殿を自 を構立して帰り行くその森殿を自 なるの際に都になるのかが、

ながら大人小児の動きの庭さなつ た秋晴れの空さなりグランドはさ た秋晴れの空さなりグランドはさ

(章天) 索天少年野球大會は十三 日から三日間番日小學校に旅で除っ

少年野球大會

營口庭球團遠征

大石橋運動會

【選購】 総山電停第六大院管内の 正日戦山において戦施につき速曝 で解軍人分替の職合射撃大會が十 で制軍人分替の職合射撃大會が十

鄉軍射擊大會

野球大會の成績

6

賞品授與式の

嬰兒を壓死して

機學版の被禁錮される学り発展店

自警團組織

最に市内警戒がを抵離するさころ あつたが同隊長は快よくこれを受 が直に同夜より非番兵士を総出し では金兵士を眺めて一般市民は大 にせる兵士を眺めて一般市民は大 にかる強うするこ共に銀道警備と **『四平街』去る十一日山添市民協**

以上の外数護班に小野村院長を指 上村柳瀬駅部長を繋取して並に全 上村柳瀬駅部長を繋取して並に全 邦人拉去は誤傳

に強姦押入りれる事覧の課職を兜りさの談は同地解決の起気とたりさの談は同地解決のむ那人家屋 人物装した 腦脊髓膜炎

「農事天」新峽子附近居住一宅久米 に入院中十二日湖行性職務職験総 に入院中十二日湖行性職務職験総 ででは、1000年のこの教練は五名で四名死亡で 沿線往來

東京 東市堡、二道河子、乾海子の四縣を物能した ・ 東市堡、二道河子、乾海子の便 ・ 東市堡、二道河子、乾海子の便 ・ 東市堡、二道河子、乾海子の便

は、りまさつて行くやうであった。 を暖の音の落々と聴えるのか気に けてるる。恐ちく室内の人に自分 がにガラス戸をコッく けてるる。恐ちく室内の人に自分 がにガラス戸をコッく でいさ思って の楽むこさを知らせたいと思って の楽むこさを知らせたいと思って

海外の主なる代理店所在地

文藝思想講演會

| 婦人公論讀者訪問記念 | 婦人公論讀者訪問記念 | 撫順永安校で

交通取締成績

はい紙を、鉄

く殺無今洗めの水が

るは異が極め人 の淋毒菌はこの恐るで、水道に繁殖しついある 傳染したる に預るて固病

直接申込あれ送料不要送

東を訪問 日來遼同日急行で一來る十月四日大連運輸場に懸行さ

▲江幸本氏(駐日支那公使館参事 官)十一日変北平へ 十一日変北平へ 一日奉天へ

一二宮関東憲兵隊長は九月十二日第十八列車にて東行した 米津選手大會出場 一宮憲兵隊長檢閱

○思者に警告す 近來リベールを購けんとする

父の知れぬ子を産んだ女中

寒院鉄局の好中中村はつ○□慢 種豚品部會の数・事性共用冊一日を市内入棚 を 下の記書されてある

押入に隱匿

與黨の態度

日

で東北側に東管無機ださいふが日 を事で無機さは製幣なものであるか は大側の機能は異常なものであるか はでは、 できなる調査報告か電線されない更に をまないるが日

關屯墾團長代理

愈よ一兩日中に着奉

のが輿論緩和 中村事件を承認の氣配は無 を圖

に對支積極的交渉をなしついある

陳憲兵司令を派遣 學良氏の命令で現地へ 東京ホテルに入つた役跡の記者に語 京ホテルに入つた役跡の記者に語

擴大せぬ

蔣駐日公使談

内地の言論界は

また硬化しない

陳氏調査に基さ 最後的斷案 中村事件に関した中央政府から中村事件はこれ以上擴大せず速かに解決するものさ思ふ、學良氏さ解決するものさ思ふ、學良氏さ解決するものさ思ふ、學良氏さ解決するものさ思ふ、學良氏さ解決するものさ思ふ、學良氏さ

階るべく一般の注意は此點に注が むいては政治すべからざる局面に 逆宣傳薬部の

川島政友會代議士の來連談

政友會代議士ル島正二八氏が十三日ばいかる丸にて來連したが織中にて語る

軍部共同戰線に

軍革抗争を激

首相の園公訪

十二日韓』河北省京部

全國民の態度强硬

の中村事件に

來滿の用務は單なる視察だ

けふ水連の 鈴木莊六大將談

た(葛真は巫邏した鈴木大勝で右)

で方の如く上奏御鏡 | 物官営田忠維氏が来進したが船中指揮官は近日中に € かる丸にて際工省貿易局通報課事
参] 特別大誠智麻軍

奥軍の進撃に 戰兩樣の作戰 るが何能氏の 保緊張しついある時内殿は総飲州を目ざむ 政府に向けて中村事性にて監修所を目ざむ 政府に向けて中村事性にて監修の東軍三萬一戦りである、一方際京政府は 何健氏漸く反蔣態度

の正確の桿、親にが揺れて聴き。 極東の平和は日本が發现すると 随つてか勝起らんさはする。

内外多事の群さん、長文二道の る限り王さんの輸は盛むまいで

れませ

併散は此處で話題を變へた。

州より上部の主のないで事さなった 準備委員總會で決定

仰附 特別大演習觀兵式諸兵指揮空 園公を訪問 おいては堂々標府を一般を突へ 一位歌は事歌何んでもないやうに思定内奏し若し欄府が奏論を掘む ないのです」 ないのです」

婦人公論社の

藤瀬會は午後五時三十分頃より男安東公會堂における婦人公論社の 講演會

告をなすもので観られる

對支貿易

情勢調查

硬軟二説に岐る

いると、いふと、いふと、いふと、いふと、いふと、いふと、ないなど、これは実もうるさいことになっ、

で活動が裏面があるのださうです。 この方が厳的いさいふこさで

行って塗って来ませう」

技術協會十六日會 要 大連ヤマトホテル二階胞 ◆伊藤女子 大連ヤマトホテル二階胞 ◆伊藤女子 本川島正

まふので





0

解すのだが、その方法がまた

々硬化

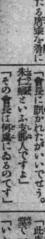
陸軍の異動

兵監中將 若山善太郎

顧問官補充

いさいが武村は驚いたやうであ 國際的サロン(七)

「あの人が兄さんのサンタン君さ一「ふん、それは何ういふ職です」



十二百粒入金拾圖

日

地脈ウフア、ウラル山脈西方近く

- 大使に常て左の如くが報した

漢口水害救恤

競技印

白燕リ

1

全大連惜敗す

六對二十八で

ー、メスマン三八のチ

東京間 途 9

1 土浦十三日登 リンディ夫妻は 中でドライヴダ 土津経等番月の 東でドライヴダ 土津経等番月の 東でドライヴダ 土津経等番月の 東でドライヴダ 土津経等番月の

けふの乃木祭

を表している。 を表しいであった、定数年前九時小山工場が表の際會の齢ののち優勝認の返 が表ので直に試合に移ったが午前の成線だの妲し であって直に試合に移ったが午前 の成線だの妲し 大連二甲 兩氏は惨死

179 0 有佐有佐高山有佐井川

大連神社月次祭

お産した

0

まむし属と判る

舞狀を自白す

電氣遊園の問

題の蛇

愈よ來る十七日上海着の豫定

が能山島に概念する蛇は飛鯨や橋 造においてまむしに近いがその智 蛇ははぶに近頭しか何なる種族で

慰問使深尾男が乘船

上陸後宗子女氏さ會

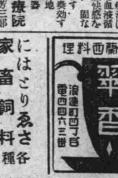
頑固な

腎腸病が

不思議に治る

飛下り轢殺さる

家畜飼料種



頭痛

百匁金十錢



慶應再勝

慶帝二回戰





立派五教。大根 れば出來る

大連でタツター軒 お化粧用 お漬物用 小袋中打 電三つ四 十五

遭難報告

全滿中等學校の 歌庭球大會開催

「水害同情は

日午前十時より大連運動場において呂葆琛、沖鉾喇に衛州の下に隣

、天城丸は艦腹に中華民國水なし福州者に分配が法について打合 なし福州者に分配が法について打合

中華青年會主催の漢口水害教恤の中華青年會主催の漢口水害教恤の

けふ午前中の戦績

|標山藍工駅コートで旅行された||大連二中、大連一中、育成學校、諸中等學校被式底球大會は十三||加した総山中學をはじめ大連蘇粟を描了架栽門學校も能、本計後援||参加學校は本年初めて州外より参

参議連中の上部日本構造職合會々長 総連中の上部日本構造職合會々長 人道上から」

全大連

日本館止衛平田

せて一千百十九回な盛んだ犯

- 二日逢坂町で豪遊中

天の川池澄へ延期

採集しつ、頂上へ 祠に記念の寄せ書を納む 小龍山島學術調查

はススキ、斑などが鬱生しそれに ラ の八分通りを充たしてしまつ館も草を分け入つた、このあたり のが多く一帯の探集物は窓ちドゥ かが外く一帯の探集物は窓ちドゥ このあたりには動物学上彩しいも 動配がないのでや、安堵し作ら、このあたりには動物学上彩しいも さである、然で充分探集を遂げたであるだけに目の題るやうな性し た、又観賞用の植物も極めて種類

をはなく動したり、間や木の機になく動した、いづれも目差では山の頭きでた、いづれも目差では山の頭きでた。いづれも目差では山の頭きでた。いづれる目差では山の頭きでは、いづれるという。

へ勢い、大野の脳田氏の焼きは十一二三匹を踏みつけた、その不動味

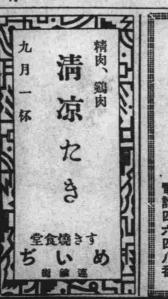
尺衛隊就

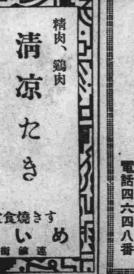
谷澤





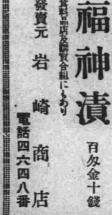












よいさ、概郎の背後なのぞいてりかへつたので、お上もまた、ひ

うな性格の、既のある驚で

れてゐるが、これは上映々西

幸校

りた入れる程身をひいた

金一千個と前位一千個を輸入で東西と、数してゐる、職も東亞は繁節にも多少の作懸りがあり、寶館でしては東亞上映を希望し再三

暗

流

(184)

芝居茶居Cind

役人はだらだな。三人

タイして映画を切って

「おや、板五郎様、どう

ために三十銭開放

を曲比に去った。

色で波藤

何處へ行く 連映書が足らぬ

代旅本さ町好が、互に男か置らんがために意地を張り合い。 出演、衣笠湾子、寺島貫、市川小文治助演、徳川事府さかん 時作、油田大伍原作、稻垣浩鳴督、干斗蔵主演、海江田譲二 時代、油田大伍原作、稻垣浩鳴督、干斗蔵主演、海江田譲二





等にて黄癜に軸でられ、何内以自等にて黄癜に軸では、サリグへ」との標記である。 大型では、一般の場合に対した。 大型では、一般の場合に対した。 大型では、一般の場合に対した。 大型では、一般の場合に対してある。 本に、単位いり、はからである。 本である。 本である。 本である。 本である。 本である。 本である。 本である。 本である。 本である。 本である。

話 注 鲁 话 **連** 大 店 本 **西罗罗里斯** 有別とは定され 産兒制限

世界の家庭樂 毒アレ止



すで樂融の粧化てしそ樂名の僞外

脳四



高松少女舞踊園来る

本・伊達里子・高峯秀子典 地位とを願ふ姉●愛光と靜寂と地位とを願ふ姉●愛光と靜寂と 地位とを願ふ姉●愛光と靜寂と 地位とを願ふ姉●愛光と靜寂と 井上金太郎監督



112 作場を関する

劍

等五四三二

記念品洩れ無く贈呈

若

躍活の屋質

理料御席會 为**後五十物鉢小** 段值の低最料材の高最 すまにすいり超過に速(は前出 可渡渡市連大 (入路小店乗りニナ店器業業山)

より大語で

隶



100

名になる為めこの融資業はツアイスの名前がよ 寫眞機を無料で h 近 的 0 健 腦 3:

から此の時候變 のですから特

朝 時候變は 11

大連市山縣通二十

ペイント大連出張所

服

かそ

られ

000

会社

懷

時時計計

三 - 五 二 - 0 0 本 口 口 口 口 一五二一

狹屋 ·品大大面看 密嚴嚴守 医 最 安

額拾圓二付抽籤券一

四四一一一一一一一一所所任打打打罐打打打 三三二一二五二一二四 四四六八〇〇四四四 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

御塔エナメル各色13立 一打 四・四○ 一、右特・賣期間中定價を左の通り特價提供 候間何卒一段の御愛用被成下度率懇願候 候間何卒一段の御愛用被成下度率懇願候 鷲印ワニン スル 謝恩特賣

進調 名物毛存か來舖 みふと屋 ■ 6085 当 22660 当

(盘二十七)

新く関下は南山仙が不若若波り上

東京日日新聞社長

(食九十七)

南山仙賞効の禮狀と揮毫

キログラ

ある。有田治時

南山仙奏効の禮狀と揮毫



使定派

析にて是非お買取るれ

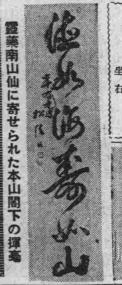
整理の長社日朝山村たれらせ寄に仙山南薬園

るところである。

日本文化成績の爲めに限下の長に快く整轄せられ、子の散を概容の長の日本を断型したるに快く整轄せられ、子の散を概容 との揮唱を まっした。「南山之仙蔵の別を解説せられ、「前山之仙蔵 へらる」ことは世間識 限下が製鑑骨重に對し

仙山南るす有を効霊

日本文化融級の質めに遊されしと 日本文化融級の質めに遊されしと 親せられ昭和五年貴族院 昭和三年御大東に際して動二等 ので、一般のである。 東カで制除・・・・ 大人 有田音な大人 を 右 (42 木山



歷藥南山仙奏効揮毫

村原 那和五年 秋心 国逐

拜復(前略)高貴縣 南山仙

の強んに遺唐使命



ら有田敷が非常に強くとの語を関うしたを受け、有田敷製が非常に強くとの語をでは、一日二日と日が配ったる 大田 二日と日が配ったので脈動と、大変元気に大きの変びは側で変した。 大変元気に大きの変びは側で変したが、 数も次第に下来したの変がはり、大変元気になったので脈動とした。 大変元気になったので脈動とした。 大変元気になったので脈動とした。 たったった。 できょうという はいました。 またった。 できょうという はいました。 またった。 またった。 できょうという はいました。 これでは、 からの変びは側でありました。 これでは、 からの変びは側でありました。 これでは、 からの変びは側でありました。 これでは、 からにない。 これでは、 からにないが、 からい

治の職を脱く が、 一を飲いだ

3

製鑑松音田有

藥効有任實

性胃胃

請合藥

五圓

請合聚 四圖

ぜんそ

請合藥五圓 請合藥 王 圆

市

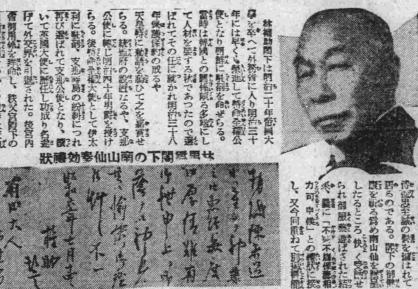
殿製館に効果を離は一春がいして拡減してゐる根様の は一教性として拡減してゐる根後の経験がようを被し、完全に手をして一名を依然的には一本的は一般に一致に一致に一致のである。

対に一致に一致に一致に一致に一致に一致に一致に一致に一致に一致に一致一大として一人一人を依然的に が終了では一般を記すのみない。 はい春葵 十七日分 八四回 はい春葵 十七日分 八四回

いて早速火が一の宮市楽町有田ド 三月十四日来加端中ノ巌目下冷園の 能力・大野元皇になっての歌歌を始めました。 大野元皇になっての歌歌を始めました。 大野元皇になっての歌歌を始めました。 大野元皇になっての歌歌を始めました。 大野元皇になっての歌歌を始めました。 大野元皇になっての歌歌を始めました。 大野元皇になっての歌歌を始めました。 大野元皇になって食歌・ であります。 私は再生の歌歌をかられた。 とは一殿病人に取って心丈夫なことが一日二日と日が置つにつれて食歌・ であります。 私は再生の歌歌を順うを得て養生法を守り有田夢の作品を記することは北京に不幸たと、 とであります。 私は再生の歌歌を順うを得て養生法を守り有田夢ので解師 たる有田敷への釈迦の強からお数ひ出に多く歌歌の歌かの書として唯一 たっとしてい、一面また肝要な歌歌に、一世の歌いの歌が、一面また肝要な歌歌に、一世の歌いの歌が、一面また肝要な歌歌に、一世の歌いの歌が、一面また肝要な歌歌に、一世の歌いとの歌が、一面また肝要な歌歌に、一世の歌いの歌が、一面また肝要な歌歌との歌歌を順うからお数ひ出した。そして独りつけの博士から 肺尖カタルと 有田鑑製薬で全快 ろくまく炎の併發

@ 原 天 市 街 南 新 越後 益 Ξ 0 市

盛 87 旬 EL



薬南山仙に寄せられた林男爵の揮毫を表式部長官として無射拳 を高からしめ又計會の木舞として 関家社會、否世界人類の質めに 関家社會、否世界人類の質めに 関家社會、否世界人類の質めに と変大の功勢によって動二等に せられ、昭和五年村山朝日新聞 せられ、昭和五年村山朝日新聞 せられ、昭和五年村山朝日新聞 とと共に背談院鑑賞に勉速せら をとれ、昭和五年村山朝日新聞

盛右の意義として珍重されつよ れ、何般行中といへども片れ、何般行中といへども片れ、何般行中といへども片でいるとなく何酸素遊ばさるるは「明日より又九州地震行可となるでは、1月1日々御野志を偲っなる心器である。または、1月1日々御野志を偲った。

現代の世 第二篇教

族の一部が信仰並に 研究 せられ

美談 安阴 番品十一·有 の時代 田音松 兵備は護國の生命 へて診然に盛して臭れましたが更 一伊藤 彦造書

標道義部服 製鑑松音田有

らか

柄全快の

亸 りあ者正不る費を

發賣元 東京日本橋 通三 本 舖 大阪内本町二 「有田音 田ドラッグ 松鑑製

の際左の文字なき物は二を物なる 表して頂く次第であります。 一 石 縣金澤市有松町三六 島田 南一 南田 南一

豪析分案液血田有

所内大っへ/出が品右 長終正 モ知セタハ/ 権が三ピグレル析情名 生皇年ン (ラ素精~

したる、肺病助膜炎最高の壁で等。 適した皇漢醫藥の粹を加へて製剤 過した皇漢醫藥の粹を加へて製剤 である日本人に を選め、菜食である日本人に のである日本人に である日本人に のである日本人に (獨逸)メルク製薬會社製 (獨逸) ローシャ 製(瑞西) ローン製薬會社製 (獨逸) ロッシュ 製(瑞西) ローン製薬會社製

にあるのである

(竹合) 服藥直に効目が現れますかに 制製して病患者の為の一層全性を早めるやう研究を に四日目頭から触や咳、痰、染汁、食態の倒れかに が、まり受全なる製剤を であるに至ったので、この新純病薬を駆むるやう研究を である。 で四日目頭から触や咳、痰、染汁、食態の倒れかに がず直に本剤の服薬によって病魔を で取し、全快の慶福へ。 とは、迷は、ないの腹薬によって病魔を でない、全人の である。 己まない

の意 血となり肉となる な

院全な榮養料 する為のなくてならぬ職血症抗魔壯順。 しないかと心配する人などが、肺病を準防 肺病、肋膜炎必須の榮養料

孫文の眞精神と

土道二二民主義

中央政府妄宣傳空の民族主義の真論と

(株のよう) 日子本版の変対大衆な乾寒するないと願いに特別 発でもあるまいと照日を浴せてるの歌者 中山が戦年の定論を大戦ないるが、 まているが、 1日本版の変対大衆な乾寒するないと、 1日本版の変対大衆な乾寒するないと、 1日本版の変対大衆な乾寒するないと、 1日本版の変対大衆な乾寒するない。 1日本版の変対大衆な乾寒するない。 1日本版の変対大衆な乾寒するない。 1日本版の変対大衆な変対、 1日本版の変対、 1

の場合の準備

不誠意極まる支那側の態度を

軍司令部側でも憤激

證據を握りながら

止式交渉を回避の肚

る支那側

た、面して外交々渉は流蒙に関する限り歴史的特殊事情に照じ奉天常局で折衝する意向でついて誠意と互譲を以て解決を圖る 方が互に利益であるさなし差替り 鮮の根本論を行ふ時は日支互に中偽論を開はし徒に問題を困難化すから外交交渉さしては各

るため外交突然をに始すべく既に出発電戦に被縁に関する指令た養した、際決も時局の問題に見込みを立てた外称監局はこれた機會に多年の服装を

愈よ近く奉天當局と折衝する

幣原外相の外交方針

誠意と互譲によっ 滿蒙懸案を解決



我駐屯軍管內に

梅日事件頻發 悉く條約無視に因る

| 大津特電十二日襲|| わが支那壁| | 本学内において形天軍の傷日事| | 本学内において形天軍の傷日事| | 本学のにおいて形天軍の傷日事| | 本学のにおいて形天軍の傷日事| | 本学のにおいて形天軍の傷日事| | 本学の日本兵士に登砲とた事| | 本学の日本兵士に登砲とた事|

法權撤廢反對には

內地各方面で

外務省首脳は滿蒙事情に疎い

歸來した 北満邦人代表談

大分變つ たやうな氣がしまであるからそれを以て拘束するがあるからそれを以て拘束するがあるからそれを以て拘束するがあるから表には支那政府さ二十一ケ條にある條約ほか數多の特別條約にある條約ほか數多の特別條約

滿蒙問題解決

刻下の急務

言論戦に主力傾注を望む

政友會指令を發す

壁調査隊の主任 わが常局も呆れ返る

(東京十二日登) 萬物山事代に関 は第一回な答より除程硬化ら事代 に日本側に手変するが、その内容 に日本側に手変するが、その内容 に日本側に手変するが、その内容

デスト大連教會では京城メソデス 連た機さして十三、十四の両日講 連た機さして十三、十四の両日講

飛んで出て、翌日に迎へた佐佐の表がして出て、翌日に迎へたわれ」

するこ佐梭子は、大げさに口に寒一は脚で笑った。

學 教授 農學博士 宇

さう、秘密、秘密、だつ

基督教講演會 日本

助言者〇

責任は日本に 萬寶山事件の

に依り僧性する事に決定した・

→同日深澤中尉ご一日本新撃場に支那一本軍の日本新撃場に支那一本軍の一、「」」」」」」」」」」」」」」」」」」< が兵山海關の日本

秦皇島にて日本軍 門始 中間始 天津成殿令、各國

の小事性は記憶され *皇島石河の渡橋な支 日貨排斥開始、 「ほんさに練るの?」 をかし、よくまた膝つてから、若 あたし、よくまた膝つてから、若 あたし、よくまた膝つてから、若 「調くなるから、ほんさに、失職

美色

第二の反抗® NOTE OF THE PARTY OF THE PARTY

宅 B 母さんも奥の部屋なのーしこうと「わかりやしないのよ。父様も、

農學博士 日 野

「珍しいれ。君さお薬かのむなん きばつた りが一杯に胸にこみあがる。まぐろ 一 ためさの、供酒た苦にして味る。 でもつかりやって、現でれっすつかいにいらつもやい」 が、察一は、いつもほご元氣

昨日、喜美の悲しさうな変を見

學士法學士 高須虎六著 (上楼出来)

ででも、さつきの話、して行かな ないて、二つめのまぐろをのみ込ん つて來る。 あまりにも差のあり過ぎる二人 は命やかなものにきこえる。 「一般に出たいこ思ふんですけご 事美の現在の慇懃を、ごうかして には命やかなものにきこえる。 「一般に出たいこ思ふんですけご 事美の現在の慇懃を、ごうかして 「こ」 「でも、さつきの話、して行かな 変一は、が然の彼好の報出を繋 んなことが、しきりに頭に浴び上でいの?」 いて、二つめのまぐろをのみ込ん つて來る。 あまりにも差のあり過ぎる二人でいの?」

なしいのれ。課長さんに叱られてごうしたの?いやに今日はお

たわれ。寮一様々よ。あがめ奉つ取消し。また喧嘩するのは早かつ 察一はおざけて、にらむ演似 字 助教長 農學士

善 著 茶色編二枚・編 の

つてしまふ。豊富のやうに候話などす。お繋持つて来るわれしな中に命じるのがじれつたいさな中に命じるのがじれつたいさな中に命じるのがじれつたいさない。

「全く――此ひこを、電台で一生がある。いくら財産があつたつてがある。いくら財産があつたつてがあったつて

を必要さはしないんだからな」 寮一は、愛りでさう寒へる。 「お様識さま」

行

採りを入れる

「返す脚 がせまつてるの?」 「返す脚 がせまつてるの?」

郷身につけ込んでそんなこさなこのよくある事だれ――ひざいれ。

一ひだいれの

「焼か頭白い部があるのかれ」

歌するんだかられ、 一緒に心 ないの?」 概談さいして臭れりや、一緒に心 ないの?」 ないの?」 ないの?」 だっ

いまのさる態はし

をみつめて念が押した。 「うまくやつてよ」 「大丈夫」

「父稿の分も、ついざいてあげや二つの姿観に、色の好い番茶を一つの姿観と、色の好い番茶を

関係を試みついあ

するで

からーが続も、さめかてはしな

文がのそりごはいつて來た。

高しのである であるのである

って、ぐづり

けて来たから、ほんでにし いけれざ――しかし」

しやべりにされちまつちや」

を出なほしてあさ、全く「紙の殿」だめ」 たんさめるの、第一さんさお話したんさめるの、第一さんさお話したが、すぐに快話に、であるが、第一さんさお話したが、すぐに快話に、

者に左の指令を發し

部所服開院議員

賢堂最新刊

「ありがたう、さんだお那般な

書芸は、しよんぼりを除って行

つちゃ、いつでも電話をかけてき

木物染色體數。研》 道物染色體質。研》

プロレタリア

音樂は何處へ行く

事は一つの事例にして耐感的れもな暴露するに至った、新くの処きなかった、新くの処き

河北に

大都市

遼寧省當局で計畫

口に對立して

いくら安い家でも

ける内部能崩壊な意味する前兆と

園結の 上から見れば一

下馬評に上る候補者

有力な候補者として下野獣に上つてる。、一面が井助役の市長製造しまた可成り話と上つてるる。

將來における内部的

崩壊の前兆ご見らる

大連市會は革新俱樂部、中正俱樂一部、明政俱樂部、滿鐵憑、支那人

滿蒙資源館玄關に

沿線在留邦人が 警備力充實希望

牛皮沒收問

h

馬賊の

二宮憲兵隊長の談

鹽數十萬圓密輸 島の軍憲首腦 清津支那領事が告發

同上海滿洲代理店

島

局商店

日本及南浦州縄代理店 会社 田本及南浦州縄代理店 会社 田

大連市西通一七

中三日建国間底におけ く調査収を返還する機械であるが を表質とかけたとめ、連 一方ならず、解解・ 一方ならず、 一方ならず、 一方ならず、 一方ならず、 一方ならず、 一方ならず、 一方ならず、 一方ならず、 一方なが、 一方ならず、 一方なが、 一方なが

與へるであらう 鞍山敗る 中學庭球大會

世界各國酒類

食

料品

大惠大山道

東京風菓子謹製

自力警備を決意

わが出先官憲に指令

『東京十三日後』最近演家における脚販の数配扱だしくこの修で選む時は満一家の治安素亂さ『東京十三日後』最近演家における脚販の数配扱だしくこの修で選む時は満一家の治安素亂さ『東京十三日後』最近演家における脚販の数配扱だしくこの修で選む時は満一家の治安素亂さ 南滿下聚熟門曼校治艦、本社後還 南滿下聚熟門曼校治艦、本社後還 中學は膨脹一中默大連二中職に 山中學は膨脹一中默大連二中職に 山中學は膨脹一中默大連二中職に - なもつて慌くも貶れた

大ちつ

ナ音樂が生れ

全滿武道大會

にではないさ思っ

正誤十二日附朝刊

かっためにも、供し 動のためにも、供し もですから、供し をする出したいと思い り生み出したいと思い りまですから、供し りまか出したいと思い しのを付けほんのを はなかった。

機械」は近來のヒッ 参加者は云ふまで

二三あるさ世明してゐる人もある ・ 大野でかるそれに多大の興味さ期 ・ ではない、夢神郎の名地、からする ・ ではない、夢神郎のるべからする ・ ではない、夢神郎のるべからする ・ ではない、夢神郎のるべからする ・ ではない、夢神郎のるべからする 先に兜を見透される恐れありへ質

題氏湖南出庫 本時より開東職者副当にイタリー時より近年まで派演進級審査(二日午後一時より近年まで派順新市街招魂時候でご出年前十時より近年まで派順新市街招魂時候で式道對署試合(三日午後一時より版武館にて)一時より版武館にて)「時より版武館にて」 二日着任した『牟天電話』 高等試験合格 関東網舶 高等試験 合格 関東網舶務網川清、並に大連響経署 医腺・動務網川清、並に大連響経署 潘海局長着任 0

16

れの

ずミび サミンクル

ル

ン

め



☆質はご結構で、家主側では高

安い家敢も高い家敢も借り手に 心のことである。

担歌章搜 You come !

のは常無で、一戸悪でも微波ののは常無で、一戸悪でもでは、一戸毎に水道程のあるに長れざれては一戸毎に水道程のある ◇一體大連の中流住宅は管薬過ぎ

などの影像は大連に於てはど

\$ ಡಿದು ಎಲಲಾದು ಅನದಲ ಆಗಿದು ಆದಿದ್ದಾರು. 為め徹底的適法の手段に出するの止む無き事を謹告候也扱の向有之候場合は弊店は代理權の侵害に對して既得權の擁護の前滿洲に於ける代理店に御座候に付同製品を弊店の承諾無く御取弊店は米國QRSデイヴライ社製品デイヴライ映寫機及撮影機の

Θ

各地

る産

物



紫檀細互責任販賣 000 (S) 大連伊勢町舎野町角) **交那各省土産品** 亚三麻雀其他 甲話六七四八番

特に銀器中優賞杯、楯、茶道具類は何れも弊店自慢の製品です。 大連市 浪速町 浪華洋行前 通支那風 呂向大連市 浪速町 浪華洋行前 通支那風 呂向大連市 浪速町 浪車 洋行前 通支那風 呂向 金器銀器の御註文は 弊店自侵の製品です

断然優秀 GIS 價格低廉正に百パーセント の滴 ▲南京虫軍全滅 フト(責任性)

3

配る、イカ切った秋空から訪れ

中華常年會新全大連次議院、一番大戦で開始二新〇で全大連リーので全大連の場合といる。

中華追撃成らず

王濱揚裔黃 高韓于 李張伽 中 祖本祖人 文群坤 樹覆松

全大連に惜敗す

二對一の接戰にて

東北の海町二番地の東町二番地の東町二番地の

が大郎興氏さ共同の田村梅之進、

神代

等約

大連市整備領三丁目大連市整備領三丁目

北

皇雅

しる。 あ、西山、松木、藤島、町毛は一 人々々何處へ出しても立脈なブレ 人々々何處へ出しても立脈なブレ

回復し二新一の揺脱裡に中華情

前半 上Cアールン側に降る

ないので保料

一つも味方のものにも得なかった。 のは中央に供東を持つて來た鑑成 にあるのではないか、三十版五点 にあるのではないか、三十版五点 では常成の餘地がある、第二列に をは常成の餘地がある、第二列に

合組造酒州東關

W.

大連市沙河口京町

糧和社

原

田商會

院代内金五百十

六大學秋のリーグ戦

(東京十二日本 郷、入場者三元 である

長春

午後三時中上

長春

流

關東廳からも

16-0

醫上

奉天のラグビー

冷

ぬじる

安藤酒店

『蛇島』を探

専門家を乗せ映畵にも 十三日遼海丸

で出發 收める

本では、 な元級で十五日家時代より数数が な元級で十五日家時代より数数が な元級で十五日家時代より数数が な元級で十五日家時代より数数が は元級で十五日家時代より数数が な元級で十五日家時代より数数が は元級でもグラウンドのコンディシ

卸

温素正宗

青

颶風襲

| 職がしたが後半陸事事権のため選出 (統領) 三・部5年 大郎、 一部5年 大郎、 一年 十年 大郎、 一年 大郎 一年 大郎、 一年 大郎

琴村遂に全滅

對馬一帯に

慢勝候補に

綠組 樺組、白組

二十日の滿鐵運動會

フランス出發僅か四時間餘で 修理完成次第に續航

遂に再學を中止

コドス機は

に記録げ依息をさつた、接師等 完成次第再び飛行が概くる意識 不時着したコドス、ロビを順氏は 完成次第再び飛行が概くる意識 不時着したコドス、ロビを順氏は 原開無着壁機臓の途中故臓のため に記録げ依息をさつた、接師等 「心臓を中止し十三日メリに腕る智

口水害救恤競技職

一野一の搭戦で中郷情殿する大連繁中等符号の歌歌には一野一の搭戦で中郷情殿する大連、一野一の搭戦で中郷情殿するから、全大連繁中等符号を歌歌とは、一野一の搭戦で中郷情殿するから、全大連繁神等を表れられないのか以て 反則注意から

隆華退場棄權 遠來の益文軍捷つ Bに入る)三分隆華敬障に政入 1フタイム前一分隆華ルび敵ゴー フタイムさなる (隆華凡 I が退き、 (隆華凡 I が退き、

九代であったが

思慰金

淸

佐雪

竹商店

神为

北

而 商店

船沈沒 長崎水產練習

地神明症居住武器素介に一人は一般教育の一大工工一名は地方法院心也を表すって、「一人の一大工工」というで、「一人の一大工工」という。

對馬の被害

起訴さる

記念消 川温馨

竹珠通信日附印 東歐始政廿五 よる常印の内記

用)HB《蔡壽山 (在政國 湘)FB《宋子仁 本》FB《郭長櫃 藤》GK《华宏

千歳ラグ す E

機能を送除するだけの可能性なく について戦略へたさころ現在では について戦略へたさころ現在では

が触ったので居氏は十一日間氏を 根手取って小三子棚へ静城の皆様

講門戶商大

工

新增

X DOOR

白米 連鎖街の問屋大島屋 下 落相場は

和泉屋本店 學生靴一割引 一, 一, 一, 同網短網上靴上 黑短靴 **東東東四**

銘酒桐正宗の冷卸 ツコ ウマン醬油 支店 和音町サツマ温泉 電話四七四空 徳 街三丁目 電話九五四四空 徳 街三丁目 電話九五四四日 では た 一向 斗一一一村州升

備後屋 神田酒店 滿洲酒造蠶 廉 品良優たし味吟 盡 松 樹 特等

町商店 野商店 萊德

尤世B3速浪速犬 卷九九三七話電 **枝公荥德** 地苗二十七野連浪

滿 洲 大連市駿河町 統計 埠頭及市中在庫數量 其他一般事項

興 信 (電話四七六六番)

西

電話九四〇九番

電話九一三四番 大連沙河口黄金町 〇五 大連沙河口黄金町 〇五 吉

頭痛 四月晚舞 科醫 ーシンの

合組造酒州東關

大連市蓋町

岡

岡商店

酒店

土井商店 大連伊勢町一五番

志摩 酿造食 高店

恩藏

森

豐川新

番四二四八京東替振 店書 刺金 路小川今田神市家領

貫貫貫用用用

日日日

露英佛

話話話疑

街鋤連市連大 店地生白染京紅丸 大石

新四にて松天軍が勝を除さた 五の大機殿で が天野漁艇脱は十一日午後三時よ に入つて安東 松天野漁艇脱は十一日午後三時よ に入つて安東

五の大郷殿で変東焼勝するのスコー

要なりしたでは、 はなりしています。 はなりしています。 はなりしています。 ながら大人小児の戦争の数さなりがケランドはされたを関係では、 ながら大人小児の戦争の起さなつながケランドはされたといいないでは、 ないでは、 ない

野球大會の成績

6

と警備

乃木祭の催し

邦人抗去は誤傳

自警團組織

郷厚版の鞍禁錮人たる勢り項原店 以上の外数護班に小野村院長を指 等方面に羽田、原の麻野部補及び 上村柳瀬麻部長を爆託して並に全

明した

嬰兒を壓死して 押入に隱匿

又藝思想講演會 講演、映畵、原稿展覽會 撫順永安校で

少年野球大會 營口庭球團遠征

日 【霊陽】総山光像第六大監管内の 在無軍人分析の歌合射撃大會が十 三日転山において管施につき激闘 分會から左の選手が出場した を既教育。平野、累坂、山田、井 上小師、高尾、萩原、松本、見

断線がを施行したが其の成構に依る を関で皆養したもの内地人二性二名 を製へたもの百二十六性百三十八名、注意 を製へたもの五百二性五日七十五 を製へたもの五百二性五日七十五 を製へたもの五百二性五日七十五 を製へたもの内地人二性二名 が製がを施行したが其の成構に依る を製へたもの五百二性五日七十五 を製へたもの五百二性五日七十五 を製ったもの五百二性五日七十五 を製ったもの五百二性五日七十五 交通取締成績

法を登見した。 一次では、 一なでは、 一なでは、

かに入れ続めた。ガラス戸のすき い紙を、対情だつた、封書をな

は飛ざないと云つてもよいので、 対職を中に入れるには丘を鞭却にこちあければならない。 対は機をでして、対害を中にそつと、そできずり入れるのだつた。 さは云へ、 対職は難下のガラス戸の中に をしてんだだけだった。 変してんだだけだった。

匪害

日 名家を持ち智り採鉱の上高監者より り十名を町内会権が終神さして歌 り十名を町内会権が終神さして歌 して かがまだしく 鍼まり落つき切つてる かまだしく 鍼まり落つき切つてる かがまだしく 鍼まり落つき切つてる 地がまだしく鍼まり落つき切つてる 地が表が影響も之が養表されに 世を な 地が表が影響も ここであら

宮城縣視察團

安奉線の 一、冬の部 スケート大會その他 馬、アロベラ遡航戦跡見學 馬、アロベラ遡航戦跡見學

旅客の吸收に努力すべく窓天事物 あつた 愛要東 諸銀では増收な職るため 登巻い 行樂地調べ 虎疫發生のため

ではあらうそれが深ざだまされて未来。 「はあらうそれが深が今日まで観子性」 「はあらうそれが深ざだまされて未来。」

第二期防疫準備 滿鐵より千草主任來る 人分會、青年順職合の警備減費は満州現上の時局に鑑み開放等、衛衛隊、在軍軍 聯合警備演習

四縣を撤設した
では地方開餐に資するため八里橋の
では地方開餐に資するため八里橋の
では地方開餐に資するため八里橋の 本事務所前になて関長分別の後継が成立した。 本事務所前になて関長分別の後継が成立。 本事務所前になて関長分別の後継がが、 本事務所前になて関長分別の後継がが、 本事務所前になて関長分別の後継がが、 本をは、地が事務所後 開豐鐵道四驛增設

宮憲兵隊長檢閱 整備完成 滿蒙毛織工場

中秋水江均繁地擴張中であった滿 繁地微株式會社では今崎駿江とた 場の農郷見學を十四日午前八時中 から宿ふさ **猶太人のお正月** 青空冷み渡る

部で新年の前職式を盛大に騒信して在家エダヤ人は市内富士町娘樂 **貧困者に寄附** 市内字治町三角一郎氏は十二日貧困者救済 金さして金十四な奉天署に寄附し か

過爐銀町県では無限七日 したがら、その好の興動をジットしたがら、その好の興動をジットけてゐる。恐らく室内の人に自分けてゐる。恐らく室内の人に自分けてゐる。恐らく室内の人に自分 まさって行くやうであった。

なるのだらう。が、中からは何の 吸の音の満々で聞えるのか気に たえ子はうもろの除子をもめる
さ、ガラス戸に離かれて、整く
が、悪のたらもく、今度は戸の内
対表したが、誰も来てるな
対表に対表がおいてあるのを知つ
てるたものちもい。ズズ……ズズ
であたものちもい。ズズ……ズズ
でれて行く。つひに彼女はそれを マリアは息をこら その裕偏の不済

ト獨泰警備の一夜」デイト獨泰警備の一夜」デイ

断然たる効力を生命とする特製リペール 現代治淋薬の第一人者として内外人間に 特製リペールの内服は淋病菌ゴノコッケ に恰も熱湯を注ぐに等しきもので腸粘膜 りの吸收作用極めて速く膀胱内に入つて 力殺菌性尿と化し放尿時みごと殺菌作用 力を整へ難き爽快なる氣分を感ずるに至 その薬効の説明は茲に千萬言を費すより その薬効の説明は茲に千萬言を費すより をの薬効の説明は茲に千萬言を費すより をの薬効の説明は茲に千萬言を費すより をの薬効の説明は茲に千萬言を費すより

時速くも著名なる効果を自覺服薬翌朝尿は藍色に變じ强き する 本劑の優れたる點は 0

悉きた はな毒

ンをまき起すに至つた。 も勇敢に數多き歐米治淋薬を駆倒しつゝあ も勇敢に數多き歐米治淋薬を駆倒しつゝあ

歐米先進國にも 特製リベールに優る

る、湯州臨土競技選手大會聚日 ・電に際原より米津午郎氏出場する ・電に際原より米津午郎氏出場する ・電に際庭より米津午郎氏出場する 愈々秋季大祭

(48)

(四)

....

地方委員選擧迫る

各候補は夫々暗中飛躍を開始

十四日午後七時より宿宮祭

五人はおいて何は本月十五人はなが、十一日日本にはなが、十一日日本により、十一日日本により、十一日日本により、十一日日本により、十一日日本により、一日本ののは、一日本ののでは、一日本ののでは、一日本ののでは、一日本のでは、一日本のでは、一日本のでは、一日本のでは、一日本のでは、一日本のでは、一日本のでは、一日本のでは、一日本のでは、一日本のでは、一日本のでは、一日本のでは、一日本のでは、一日本のでは、一日本のでは、一日本のでは、一日本のでは、一日本のでは、日本のでは

日の前の灯に染まったガラス酸 子の前に、思ひがけなく、女の女 が黒く現れたのに、マリアはぎょ

黒い人影のひ

人で來て、たえ子な教ひ出さうさ其の女にマリアより先に其處に私 してゐたのであらう。この場合そ

武波署長巡視

奉天町内會では豫選

定めし膨はひを呈するここであらは昨年以上の經費を支出したから 有賀庫古氏送別會

ここは出来ない。では、やはり自っている。 マリアはやと安心して、軽び木 がの暗がりに後じさりでかくれる マリアはやと安心して、軽び木

一行も 十時より一般氏子に釈迦せ とり離社において釈愛報告祭を執 とり離社において釈愛報告祭を執 とり 一般氏子に釈迦せ 御神寳の拜觀 宮より拜受したる鐵 中水揚高

あたりはシンと納まりかへつていた。時々屋敷の外から遠くだの

・ 生花神は矢野で生花 陳 列

く總會につき委覧多數の出席を希 出時より融議機上において總 を 出時より融議機上において總 を を は他代委員會でな









連 JOAN

自午後六時五十分

由つて事實を知られよ

0

for Gonorrhoea



〇 海峽殖民地 〇 海峽殖民地 御外の主なる代理店所在地 **更らんさする店ありご朋** 近来リベールな際はんご 接申込あれ送料不要送 萬一品切の節は養實元へつまらぬ襲を言葉巧みに押

地海外到る處の樂店に販賣す

腦脊髓膜炎

『泰天』新娘子附近院住一宅久米 一(**ひは十日養病と察天醫大院 に入院中十二日淑祥性職稽観膜炎 に入院中十二日淑祥性職稽観膜炎 で確認された本年に入り察天醫院 内のこの養滅は五名で四名死亡し てゐる 沿線往來

本 大事務所級道課長 十一日赴連理事 同上 間地 / 課長 同上 間地 / 課長 同上 一日奉天へ (駐日支那公使館参事

サートス弾車にて東行とた 十三日職脱分が職を撤脱し同日第 十四州車にて南行とた 米津選手大會出場

(第主任) 十二日本家へ ・ 十一日を北平へ ・ 一日を北平へ ・ 本武田胤雄広、地方部庶務課人事 ・ 本武田胤雄広、地方部庶務課人事

東を訪問

総しい事性さして監視の鍵節 となり目下極砂に取譲中であるかさ のによれいさいふこさで展天

町家総食店の好中中村はつつじか 種豚品評會の別数と事代共月卅一日夜市内八幡 がごうなるか注目されてゐる

父の知れぬ子を産んだ女中